

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	大阪市立三津屋小学校
学校長名	川口 淳

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・三津屋小学校では、第6学年 94名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪市立三津屋小学校の平均正答率は、算数科では、全国平均および大阪市平均と比較して同等の結果であった。しかし、国語科・理科においては、全国平均および大阪市平均より同率が低い結果となった。

- 【国語科】学校の平均正答率は65%で、全国平均（66.8%）で1.8%下回った。
- 【算数科】学校の平均正答率は58%で、全国平均（58%）で同率であった。
- 【理科】学校の平均正答率は50%で、全国平均（57.1%）で7.1%下回った。

教科ごとの無解答率についてはすべての教科において全国平均・大阪市平均を下回っている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

- 【国語科】「言葉の特徴や使い方に関する項目」は全国平均を大きく（7.1%）上回った。しかし、その他の領域においては大阪市平均・全国平均を下回った。特に「情報の扱い方に関する事項」（-8.8%）に関しては大きく下回っている。
- 【算数科】すべての領域において、全国平均・大阪市平均のほぼ同率となっている。
- 【理科】すべての領域において、全国平均を下回った。特に「エネルギー」を柱とする領域（-14.5%）と「粒子」を柱とする領域（-6.2ポイント）に関しては大きく下回っている。

各教科において全国平均と比較し同率または下回ったが、昨年度の結果よりも全国との差は縮まっている。今後は、家庭学習の定着やスクールアドバイザーの助言を活かした授業作り等に取り組み、児童の学習意欲の向上をさせつつ、基礎基本の定着を図る必要がある。

質問調査より

児童質問紙調査では、「自分にはよいところがある」・「学校に行くのは楽しい」など自己肯定感や学校生活の満足感に関する質問、将来の夢や向社会性を問う質問などで大阪市・全国平均に比べ肯定的な回答が高い結果であった。学校が経年的に取り組んできた異学年交流や自己肯定感の向上についての取り組みについて一定の成果が出ていると考えている。学習面においては、「国語・理科の勉強は好きだ」といった項目で肯定的な回答は、全国平均を上回っている。一方、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」は全国平均を下回る結果となった。

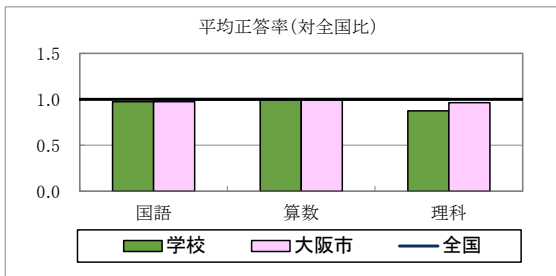
今後の取組(アクションプラン)

- ・学力の定着として、個々のつまづきを調べ、それに応じた課題を与え反復学習を行い基礎基本の定着を図る。具体的な手立てとして日々の授業の質の向上はもちろんであるが、デジタルドリル「nabima」「スタディアサプリ」の活用、学習教材データ等活用し朝の学習や自主学習に取り入れ基礎基本の定着に努める。
- ・学校が休みの時に家庭での学習する時間が0の児童が全国平均の2倍以上である。今後は、自主学習「自分の日」の取組を継続し、学習意欲の向上を促し、家庭学習の習慣化と学ぶことの楽しさを高めるように支援し個別最適な学びを進める。
- ・学力向上支援チーム事業におけるスクールアドバイザーと連携し、児童の実態に応じた授業づくりを進めていく。

【 全体の概要 】

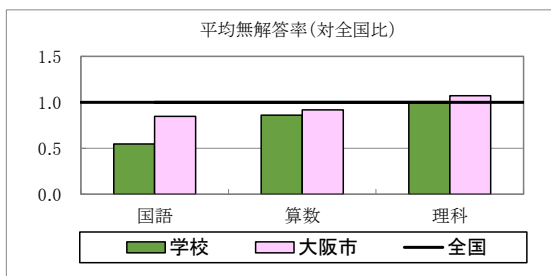
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	65	58	50
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.8	3.1	2.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



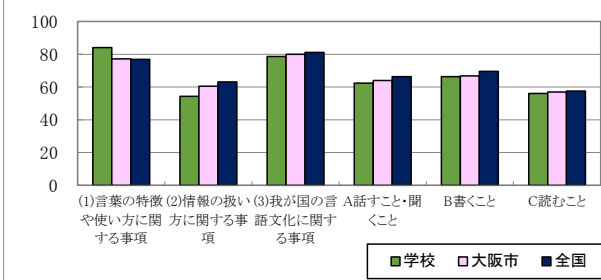
【 国語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	84.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	54.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化 に関する事項	1	78.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.4	64.0	66.3
B 書くこと	3	66.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	56.1	56.9	57.5

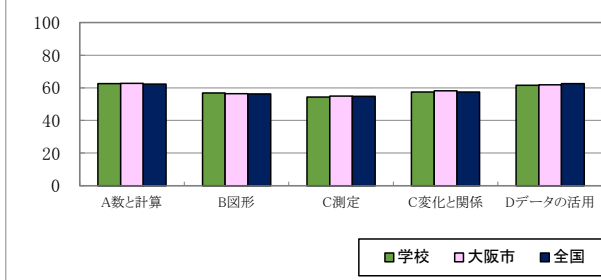
【 算数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.6	62.7	62.3
B 図形	4	56.9	56.4	56.2
C 測定	2	54.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	57.4	58.2	57.5
D データの活用	5	61.5	61.9	62.6

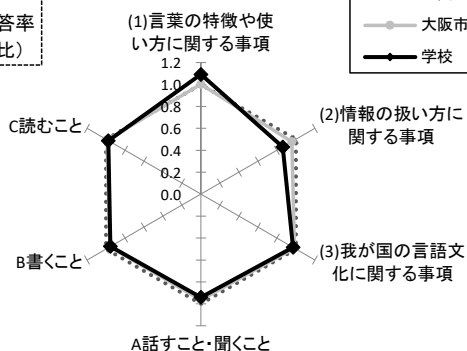
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



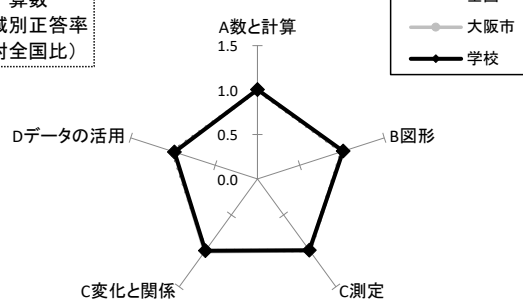
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

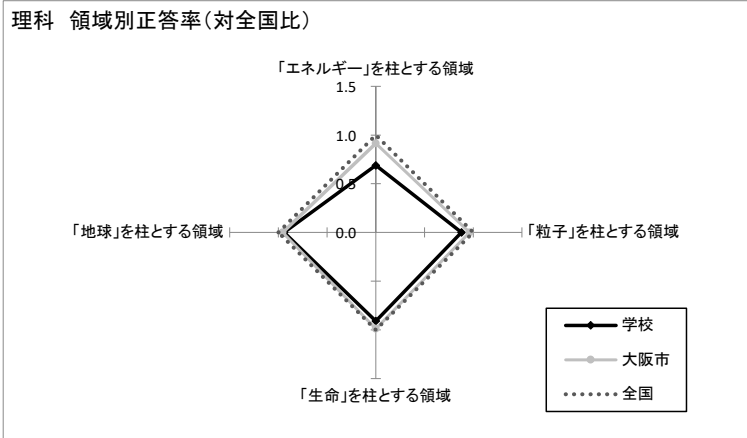
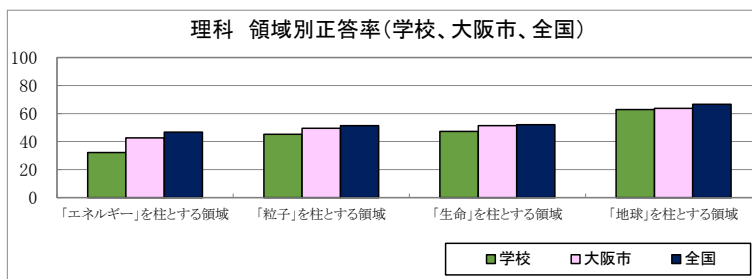


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	32.2	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	45.2	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	47.3	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	62.8	63.8	66.7

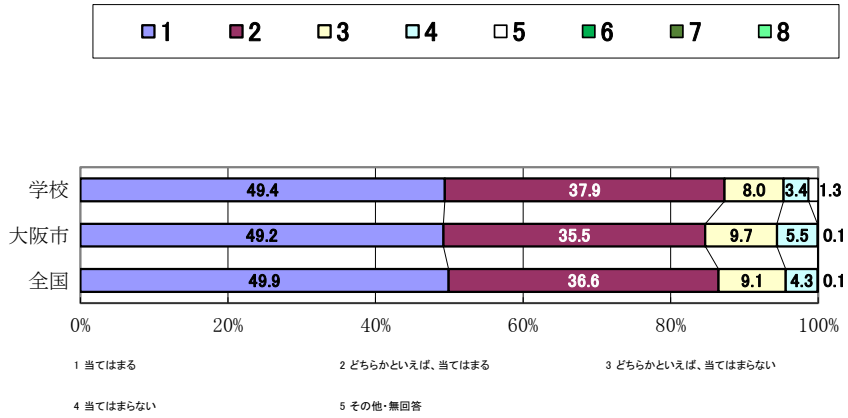


児童質問より

質問番号
質問事項

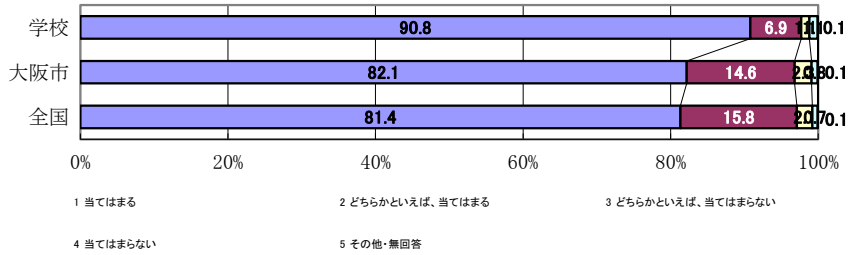
12

学校に行くのは楽しいと思えますか



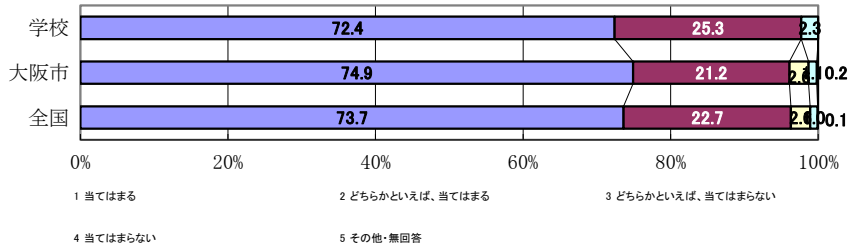
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



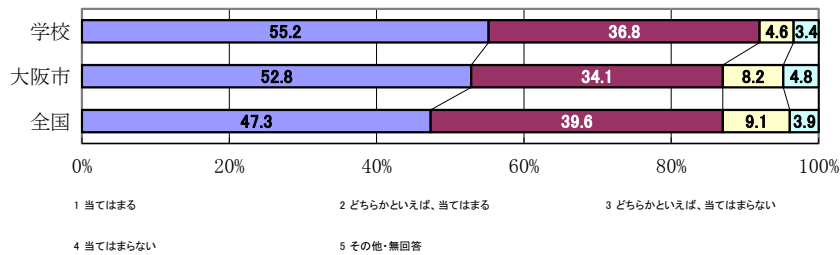
11

人の役に立つ人間になりたいと思えますか



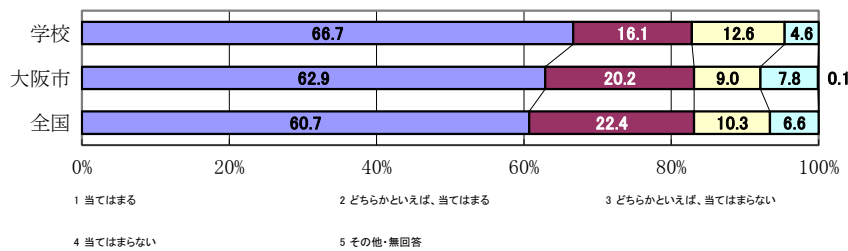
5

自分には、よいところがあると思えますか



7

将来の夢や目標を持っていますか



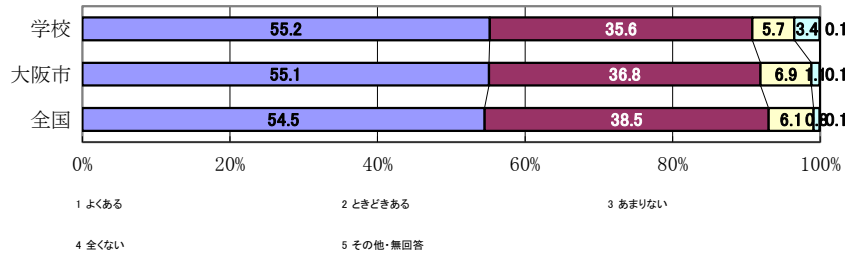
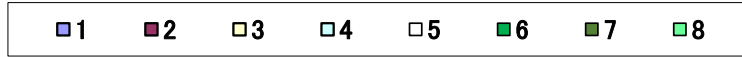
児童質問より

質問番号

質問事項

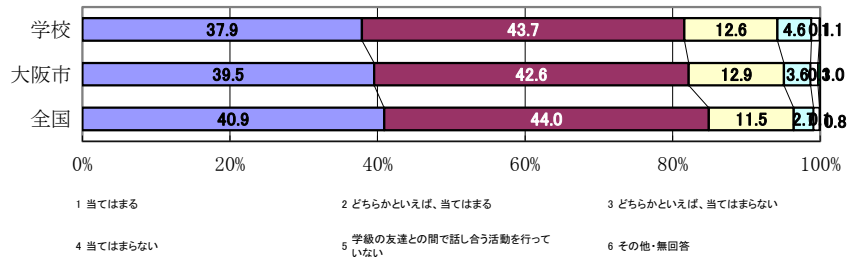
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



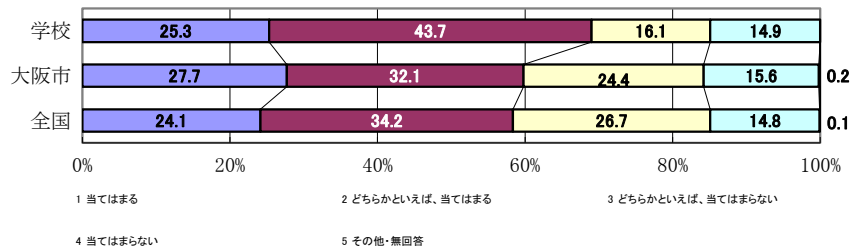
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



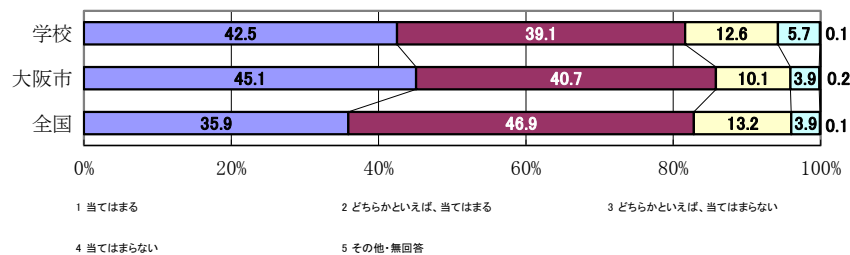
45

国語の勉強は好きですか



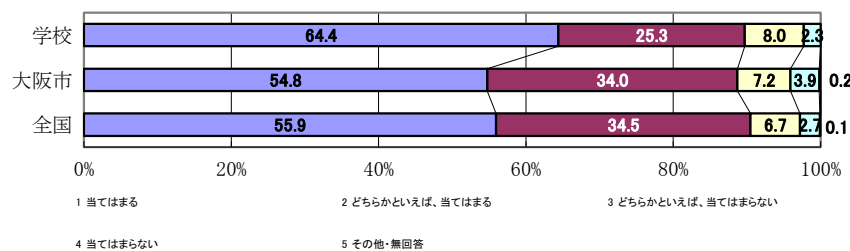
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

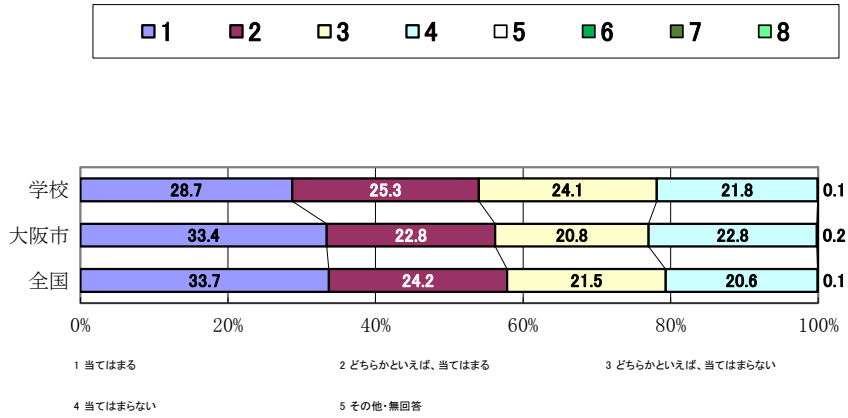


児童質問より

質問番号
質問事項

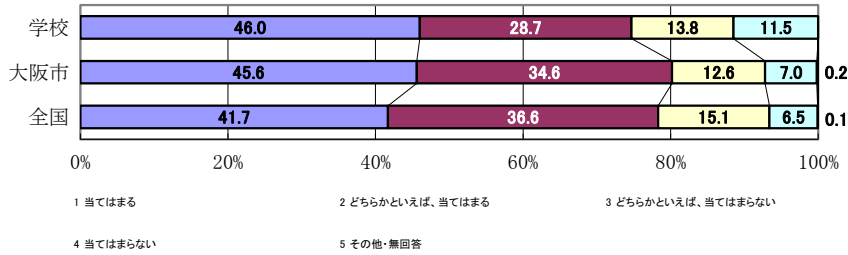
53

算数の勉強は好きですか



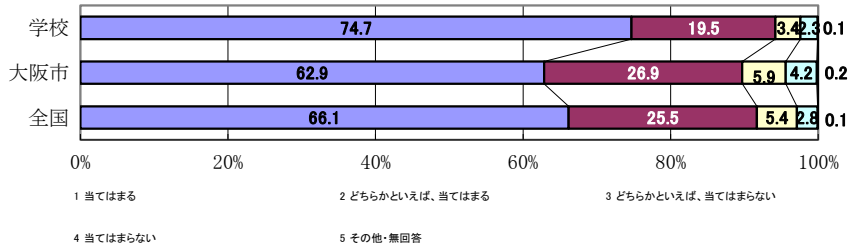
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



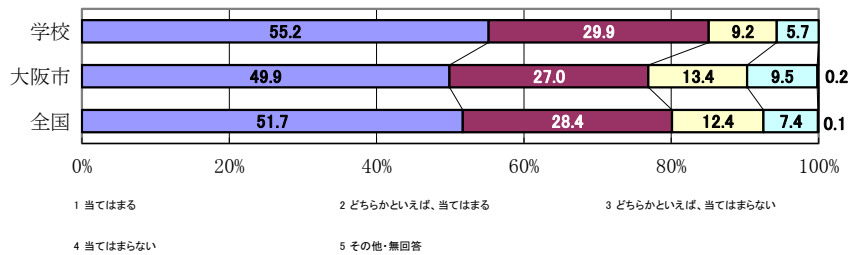
55

算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



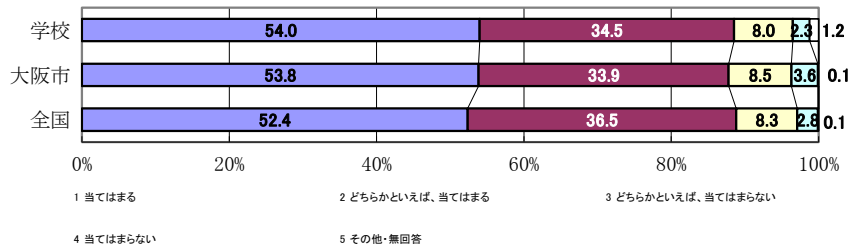
61

理科の勉強は好きですか



62

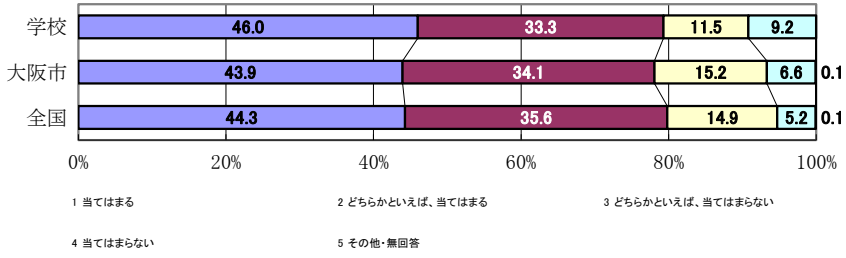
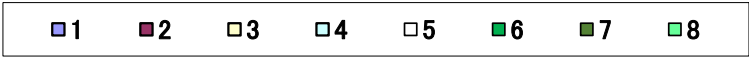
理科の授業の内容はよく分かりますか



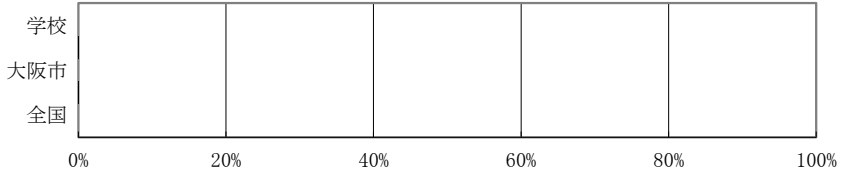
児童質問より

質問番号
質問事項

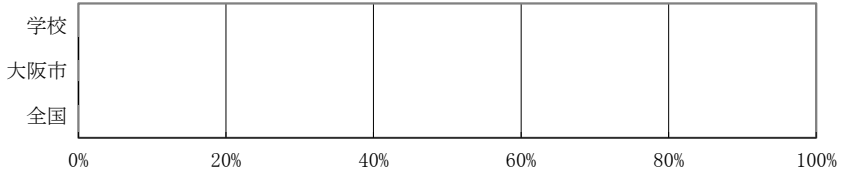
63
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



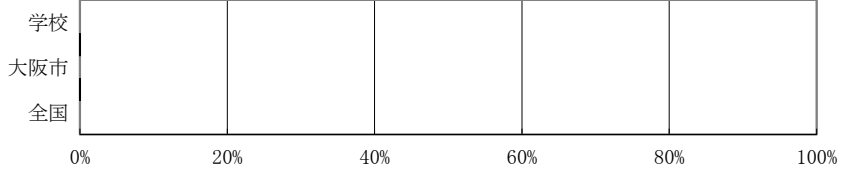
Blank question box



Blank question box



Blank question box



Blank question box

